

地域健康づくり研究・教育センター 規程

(開設目的)

- 第 1 条 全国・東京都・品川区等の各自治体や地域組織・住民と連携協働し、保健・健康づくりに関連する地域貢献活動を展開し、また、学内外における保健・健康づくりに関する研究・教育の拠点となることを目指す。

(名称)

- 第 2 条 本組織の名称は、「地域健康づくり研究・教育センター」(以下、「センター」と称する。)とする。

(附属施設及び設置場所)

- 第 3 条 本センターは、東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科に付属する研究・教育施設として、以下におく。
東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科 五反田キャンパス内
〒141-8648 東京都品川区東五反田 4-1-17

(事業内容)

- 第 4 条 本センターは、全国・東京都・品川区等の各自治体や地域と連携協同して、次の業務・活動を行う。
- (1) 保健・健康づくりの質向上への貢献に関すること。
 - (2) 保健・健康づくりの水準の向上発展への貢献に関すること。
 - (3) 保健・健康づくりにおける研究力向上に関すること。
 - (4) 保健・健康づくりにおける教育力向上に関すること。
 - (5) その他センターの目的を達成するために必要な事項。

(運営組織)

- 第 5 条 本センターは次の各号に掲げる構成員をもって組織する。
- (1) センター長
 - (2) 教育職員
 - (3) 事務職員
 - (4) その他センター長が必要と認める者
- 2 本センター長は、東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科長が指名するものを充てる。

(事務)

- 第 6 条 本センターの事務は、五反田事務部が担当する。

(その他)

- 第 7 条 この規程に定めるもののほか、本センターに関することについて必要な事項に定める。

- 附則 この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

資料：

大学の地域貢献に関して、文部科学省は、「大学には、地域や社会の知の拠点として、住民の生涯学習や多種多様な主体の活動を支えると同時に、地域や社会の課題を共に解決し、その活性化や新たな価値の創造への積極的な貢献が求められている。」としている。

これまで医療保健学部 看護学科 地域看護学領域では、各自治体や地域組織・住民と連携協働し多くの地域貢献活動を行ってきた。現在では他領域・他学科の先生方にも活動に参加いただいている。

これら実績を踏まえ、本センターの開設は、医療保健学部 看護学科における地域貢献活動の充実を期し企画するものである。

1. センター活動にあたっての構成員

活動にあたり第5条の構成員であるセンター長、教育職員、事務職員の構成員の他、外部委員として一般社団法人「住民とともに活動する保健師の会」が入る。

活動スタッフ： 医療保健学部看護学科 常勤教員・非常勤教員の有志
一般社団法人「住民とともに活動する保健師の会」

事務部スタッフ： 東京医療保健大学 五反田事務部
一般社団法人「住民とともに活動する保健師の会」
(本センターの事務は、外部委員である「住民とともに活動する保健師の会」の協力を得て、五反田事務部が担当する。)

2. 付属施設及び設置場所

東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科 五反田キャンパス内
地域非常勤講師室 第3別館裏1階(助産学専攻科倉庫奥)

3. 本センター 開設後の業務・活動内容例(現在、医療保健学部看護学科地域看護学領域が行っている業務等)

1) 品川区との締結において品川区より請け負っている地域看護学領域の業務

- (1) 健康大学しながわ 運営・評価・学生ボランティアの派遣
- (2) 震災対策計画 運営計画助言・研修会講師派遣
- (3) その他 地域保健活動演習における健康づくりの会の連携

2) 東五反田倶楽部・NTT 関東病院地域連携室等、地域との連携業務

東五反田ファーム・エイド
東五反田倶楽部・NTT 関東病院・品川区等との協働企画・運営
学生ボランティアの派遣

3) 品川区立第三日野小学校より請け負っている地域看護学領域の業務

小学生の生活科授業における見学・質疑応答(入試広報委員会と協働)

4) 医療保健学部学生の部活動2SK会(青少年の性と健康を考え活動する会 顧問代表渡會)

医療保健学部学生の部活動2SK会(青少年の性と健康を考え活動する会)は、地域看護学領域教員・非常勤教員が中心になり、木村哲名誉学長、養護教諭・感染・医療情報学科教員等11名が顧問陣となり運営している。

現在、2SK会に所属する学生は1-4年生で103名が所属している。

- ・ 東京都 AIDS peer education 事業に参加し、東京都認定資格「東京都エイズ・ピア・エデュケーター」の資格を取得している。通算10年で約50名の学生が取得した。

- ・ 都内中学・高等学校、大学での講演を行っている。
- ・ 医愛祭において、東京医療保健大学関連保健所である品川区保健所・目黒区保健所・世田谷区保健所・東京都庁との協働開催を行い、展示の説明を 2SK 会が行っている。
- ・ 東京医療保健大学 新入生合宿における性感染症予防教育の講師を務めてきた。
- ・ 日本性感染症学会スタッフとして運営にかかわっている。

5) 品川区大崎第一地域センターとの連携による業務

- (1) 町会・自治会 研修会講師派遣 地域絆づくり運営・協力
- (2) 東五反田地区 夏祭り・健康づくり支援 学生ボランティアの派遣
- (3) その他

6) 品川区八潮地域センターとの連携による業務

八潮地区総合防災訓練への講師派遣・協力 学生ボランティアの派遣

7) 自治体・地域組織・地域住民等との研究

- (1) 自治体・地域組織・地域住民を対象とした研究
- (2) 自治体・地域組織・地域住民を対象とした研究の連携調整
- (3) 自治体・地域組織・地域住民との共同研究
- (4) その他

8) 地域医療機関・医師会からの依頼である性教育推進

現在、品川区内三浦医院 委員長を中心とする性教育推進グループに携わり、研修会運営、研修会講師を務めている。(4)の 2SK 会メンバーも参加している。)

9) 全国自治体における保健師・教員・地域住民対象の研修講師

東京都 23 区保健師研修会における講師

国立保健科学院における医療従事者向け研修会・講座における講師

結核研究所主催 保健医療従事者向け研修会・講座における現任教育の講師

保健福祉行政主催 保健医療従事者・保健師職能研修会・講座における講師

都道府県教育委員会主催 教職員・養護教諭新任研修会・講座における講師

在宅看護従事者研修会・講座における講師と、研修会の開催

医師会等主催研修会・講座における講師

小・中・高校生向け研修会・講座における講師

市民講座における講師

学会における講師・シンポジスト 等

10) 外部委員 である「住民とともに活動する保健師の会」に 2023 年度より東京都 福祉保健局から委託される業務

住民とともに活動する保健師の会は、約 10 年前より、東日本大震災・新型コロナウイルス感染症等における自治体への保健師派遣・支援、学会シンポジウム・自由集会の開催等を行ってきた会であり、2023 年度からは東京都福祉保健局より下記の業務が委託されることが決定している(事業運営・人件費 年間予定予算 12,000,000 円)。

「住民とともに活動する保健師の会」が外部委員として入り連携することによって、東京都福祉保健局と東京医療保健大学の連携も強めていく。

- (1) HIV/AIDS・性感染症対策における若者が若者に行う「AIDS Peer Education」事業
- (2) 青少年施設(中高生放課後施設)に若者を派遣し教育を行う「HIV 啓発拠点 4T」事業

- (3) 池袋保健所に開設している「エイズ知ろう館」事業
- (4) 若者が集う「AIDS フェスティバル」事業
- (5) HIV/AIDS・性感染症対策におけるサイト・SNS 運営等の「情報発信」事業

11) その他

- 1)-7) 現在、地域看護学領域が中心に実施・協力している事業
- 8)-9) 渡會実施してきた地域貢献・講師 等
- 10) 外部委員である一般社団法人「住民とともに活動する保健師の会（代表理事 渡會）」に東京都から委託される事業